士が高橋蔵相に質問した「政府は社會政策をやる意志があるか」
ふか」とやつた高橋さん曰く
「社會政策など云ふ言葉や政策は吾國にない政府は左様な意志は
ありませぬ」と云はれた事がある。其が大正九年の事です。
堺先生が社會運動に入られたのは明治卅年頃ですよー其の迫害苦
勞が如何程であつたか實に想像以上であります。
大正九年でしたか私は製鐵所の「ストライキ」に關係しまして小
倉の刑務所に通入りました。其は今はありませぬが治警十七條違
反でした。出てから友達が死刑になりはせぬかと心配して居た」
と盛んに尋ねるので何故死刑になるかと聞くと「其でも製鐵所は
官營でつまり御上の工場で御上に違警を掛けたので死刑になりは
しないかと思つた」と申して居た位僅か十數年前の一般民心の狀
態でありました。此から考へても明治卅年頃の堺先生の時代の苦
勞は如何程であつたか實に血と涙の先生の結晶の御蔭が帝に角今

財團法人 協調會福岡出張所

財團法人 協調會福岡出張所